

# トムス 86 リヤアンダースポイラー

このたびはトムス リヤアンダースポイラー(以下スポイラー)をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。本製品の取り付け方法を以下に記します。正しい取り付けをお願いいたします。本取り付け説明書は「自動車整備技能検定3級合格者」程度の方を対象に記述してあります。用語等でご不明な点は、整備解説書等をご参照ください。なお、取り付け等に関するお問い合わせは、弊社技術までお問い合わせください。

本製品の内容及び付属品は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

※必ずトムスパレルNo17400-TZN67/68の説明書と併読して作業をおこなってください。

**適応車種** 本製品は以下の車種に対応しています。(2017年2月)

トヨタ 86(ZN6) 平成28年7月～トヨタ純正用品、他社製エアロパーツとの併用はできません。  
装着にあたりトムスパレル 4テール No,17400-TZN67/68との同時装着が必要です。

**取り付け上のご注意** 以下の注意を必ず守るようお願いいたします。

- 1.リヤアンダースポイラー取り付け作業は、必ず作業員2名で行ってください。
- 2.リヤアンダースポイラー脱落防止のため、取り付けボルト等はしっかり締めてください。  
また、走行前にゆりみがないかチェックしてください。  
**リヤアンダースポイラーが脱落した場合は、重大事故につながる恐れがあります。**
- 3.車両をジャッキアップする際は、必ずリジットラック等で車両を固定してください。
- 4.ビス取付の際は手締めを行ってください。電動ドライバー等を使用すると部品を破損する恐れがあります。
- 5.両面テープの接着力促進剤として必ずプライマーを塗布してください。  
(詳しくは「3M PACプライマー-N200 取扱説明書」を参照のこと)  
ボディコート塗布車両は、プライマーの接着力促進効果を発揮できない場合があります。プライマー塗布面のボディコートは塗装用コンパウンド(細目以上)で剥離し、アルコール等で拭き取り除去をしてください。
- 6.両面テープの接着力は、気温が15°C以下になると低下します。両面テープ及び接着面を加熱器等で温めてから貼り付けを行ってください。
- 7.両面テープの接着力低下防止のため、本製品装着後(24時間以内を目安)の洗車は行わないでください。  
両面テープの貼りなおしをすると、接着力が極端に低下するため貼りなおしは行わないでください。
- 8.純正用品及び他社製品との同時装着はできません。
- 9.リヤアンダースポイラー装着により、標準リヤバンパーより、全長約12mm長くなり、地上高約23mm低くなります。
- 10.本製品は車両登録後の取り付けを前提としております。登録前に取り付けをする場合は持ち込み登録となります。
- 11.塗装済み品につきましては使用している材料の違い等により車両本体の色と完全に一致しない場合があります。

**構成部品** 本製品は以下のパーツで構成されております。欠品や破損等が無いことをご確認ください。

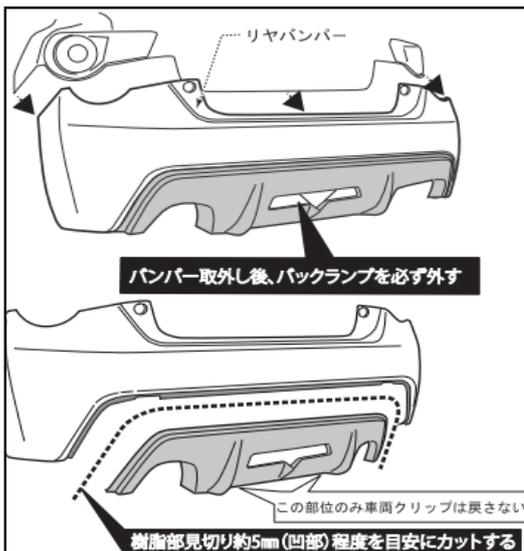
## 【リヤアンダースポイラー 構成部品】



①リヤアンダースポイラー

- ①リヤアンダースポイラーx1
- ②PACプライマーx1
- ③M4タッピングx4(M4x20)
- ④取付ブラケットx4
- ⑤フランジボルトx10(M6x12)
- ⑥フランジナットx8
- ⑦タイラップ(200mm)x2
- ⑧ゴムスペーサー(5mm、3mm)各x4

## 取付要領



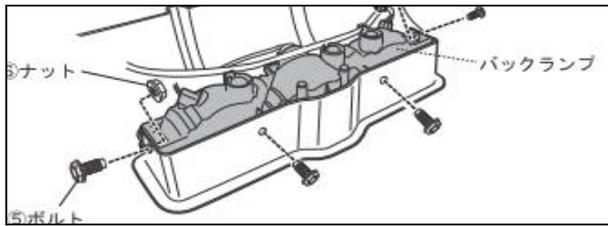
1.車両のリアバンパーを取り外す。  
詳細はトヨタ自動車(株)発行[整備要領書]を参考に  
にする。

※リアバンパーを取り外したビス、クリップ類は  
再使用しますので  
紛失等しないようにしてください。

2.リアバンパー樹脂部を見切り約5ミリ程度を  
目安にカットしてリアバンパーから切り離す。  
バックランプを取り外す。  
リアバンパーを車両に取り付ける。(左図参照)

### アドバイス

リアバンパー、バックランプの傷付防止のため保  
護シートなどを敷いて作業をする。



3. 取り外したバックランプを①スポイラーに上端部⑤ボルト2ヶ所、側部⑤ボルト⑥ナットを使用して取り付ける。(左図参照)



エンドモール端末からバンパー端末までの直線距離350mm。

4. ①スポイラーをバンパーにあてがいりヤバンパーコーナーラインから高さ65mm(参考値)の位置に合わせる(図2)、側部バンパー端末からは直線距離にて350mm(参考値)の位置に合わせる。(図1)

**アドバイス**

ガムテープ等でスポイラーを固定すると作業が容易になる。

5. ①リヤアンダースポイラー全体が下がらないように取り付け位置を確認してタッチ面アウトラインをマスキングテープでマーキングをする。また、フェンダーアーチ部にも穴あけ位置をマーキングをして2.5mmの穴あけをする。穴あけ作業を終えたらリヤバンパーを一度取り外す。

**注意!**

左図指示寸法の位置を左右確認をする。

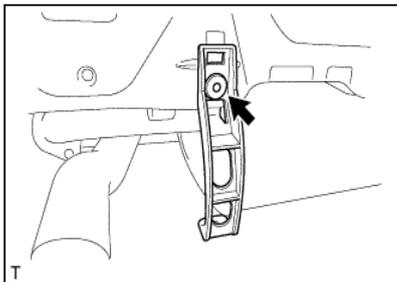
マーキングが正しく行われないと、①スポイラーが正しい位置に取り付けられず脱落の原因となる。



エンドモール端末からリヤバンパーコーナーラインまでの直線距離65mm。

**注意!**

①スポイラーのエンドモールとバンパーの間に隙間が発生する場合は多くは①スポイラー位置にあります。①スポイラーを約5mm範囲内で上下、左右位置の調整をする。



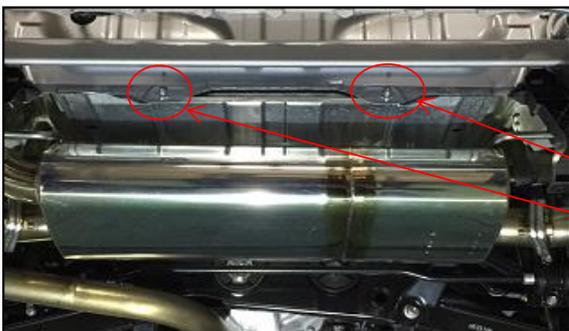
5. リヤバンパブラケットCTR(左右)を取り外す。(再使用しない。)

この位置に④取付ブラケットを左右に⑤.⑥を使用して取り付ける。

6. ①スポイラー中央部の④取付ブラケットを付けるため遮熱板ボルトを緩め④ブラケットを遮熱板とフレームの間に挟み込み、ボルトで取り付ける。

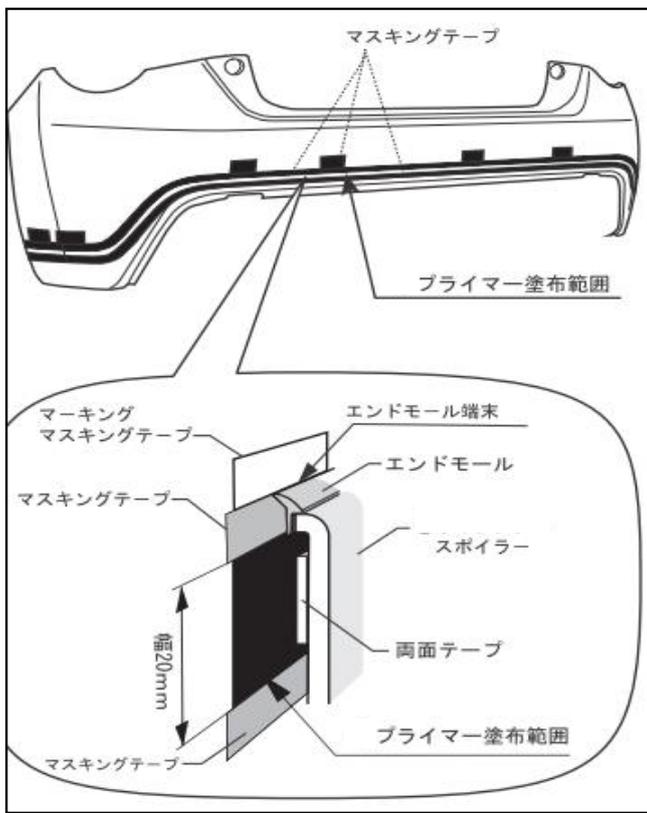
**注意!**

軍手などを必ず着用して遮熱板を押さえながら作業をする。



赤○部分のボルトを外して④取付ブラケットを挟み込み取り付ける。

7. 取り付けブラケットを車両側に取り付けたら、リヤバンパーを車両に取り付ける。



8. リヤバンパーのゴミ、ホコリをウエスで除き脱脂処理を行う。

**注意！**

脂分の付着は、両面テープの接着力が低下するため接着面の脱脂処理は十分に行う。

9. ①スポイラーの両面テープ貼り付け位置を再度確認し②プライマー塗布範囲をマーキングテープでマスキングをする。  
(左図参照)

**注意！**

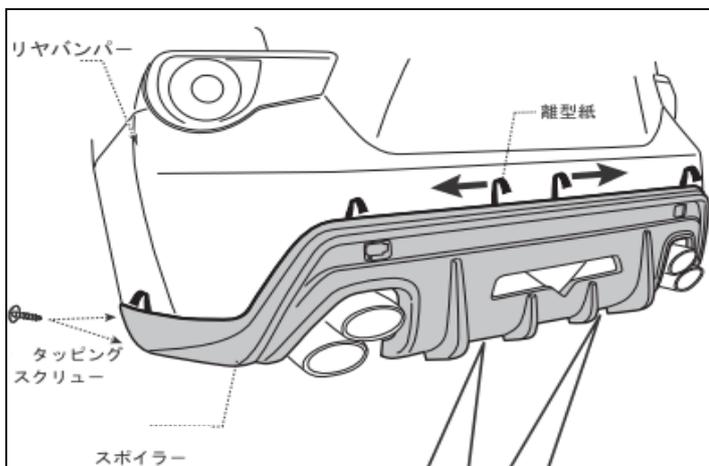
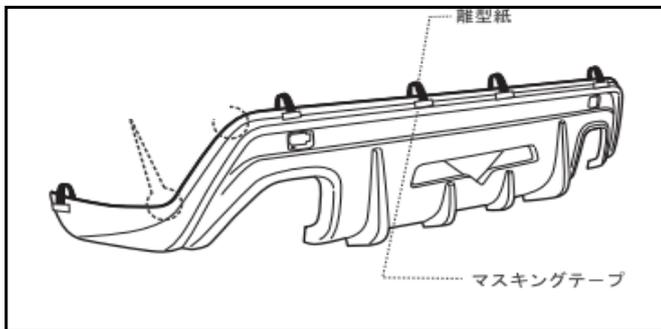
塗布範囲は、エンドモール端末からのみだしがないように注意する。

9. ②プライマーをマスキングテープに沿って塗布し、標準状態で10分以上放置し、十分に乾燥させる。

**注意！**

プライマー使用に際して、3M PACプライマーN200取扱説明書に従い使用する。  
乾燥の標準状態: 23°Cで10分~3時間。ほこり、汚れ、水滴が付着しないようにして十分に乾燥させる。気温15°C以下では加熱器を使用して温める。塗装面を黄変させるため、はみだしたプライマーはアルコール等で拭き取る。

9. ①スポイラーの両面テープ離型紙を50mm程剥がしスポイラー表面に折り返しマスキングテープで貼りつける。(左図参照)



10. ①スポイラーをバンパーにあてがい、下面部⑤、⑥を使用して4箇所とフェンダーアーチ部には③を使用し仮止めをする。

バックランプへのバルブ装着も忘れずに行う。

①スポイラーの取り付け位置を確認後、問題がなければ車両中央部からタイヤ側に向かってテープ離型紙を引き抜きながら圧着をする。  
(左図参照)

(左図参照)

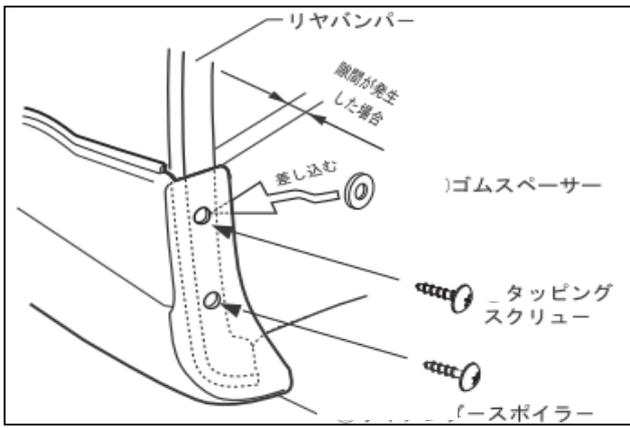
**アドバイス**

リアアンダースポイラーを圧着する際は、センター位置からテープ離型紙を引き抜き圧着していく。

**アドバイス**

圧着しにくい時は裏側とはさみ込むように押すと作業しやすくなる。





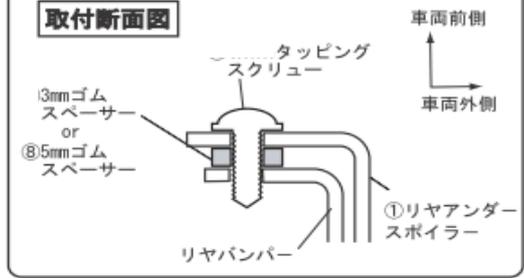
11.フェンダーアーチ部の4mmタッピングを本締めをする。バンパーとスポイラーの間に隙間ができる場合は⑧ゴムスペーサーの適したサイズを差し込む。  
④取付ブラケットを本締めをする。

**注意**  
フェンダーアーチ部のタッピングスクリューを締めすぎると、破損、変形の原因となります。また、圧着された両面テープに隙間を発生させる原因となる恐れがあります。

**アドバイス**

リアアンダースポイラーの増し締め作業の際にフェンダーアーチ部に隙間が発生する場合は、⑧ゴムスペーサーのうち適したものを挟み込んで取り付ける。

**取付断面図**



12.バックライト配線を車両フレームの穴に⑦タイラップにて固定しマフラー等に触れないようにする。(左図参照)



**注意**  
バックライト配線の固定は確実に行わないと緩んで、マフラーに触れる恐れがあります。固定は確実に行ってください。



13.すべてのボルト、ナット、タッピングスクリュー等の閉め忘れがないかを再確認し、バックランプ等の灯火類の点灯を確認する。

(お問い合わせ先)  
株式会社 トムス  
TEL: 03-3704-6191  
月～金 AM9:00～PM5:00



# リヤバンパー素地品の塗装手順

※素地品は塗装前に必ず仮取付けをして、各部に不具合がないか確認をしてください。

**塗装後のクレームには応じません。**

## 構成部品

- ①リヤアンダースポイラーx1
- ②PACプライマーx1
- ③M4タッピングx4(M4x20)
- ④取付ブラケットx4
- ⑤フランジボルトx10(M6x12)
- ⑥フランジナットx8
- ⑦タイラップ(200mm)x2
- ⑧ゴムスペーサー5mm、3mm各x4
- ⑨エンドモール(ブラック、グレー)各x1

※塗装、作業前に不足品がないか必ずご確認ください。

### I. 塗装作業手順

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂をする。
2. サフェーサー処理を行う。
3. 塗装を行う。塗装乾燥の加熱温度は40度以下で行うこと。

#### 注意！

本製品はABS製品のため適切な塗料を使用する。

#### 注意！

モールの圧着の際は、49N(5kgf/cm<sup>2</sup>)以上で圧着する。

#### 注意！

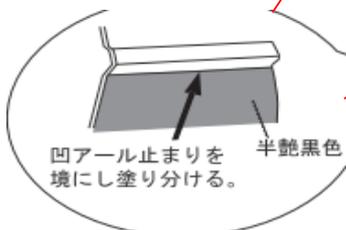
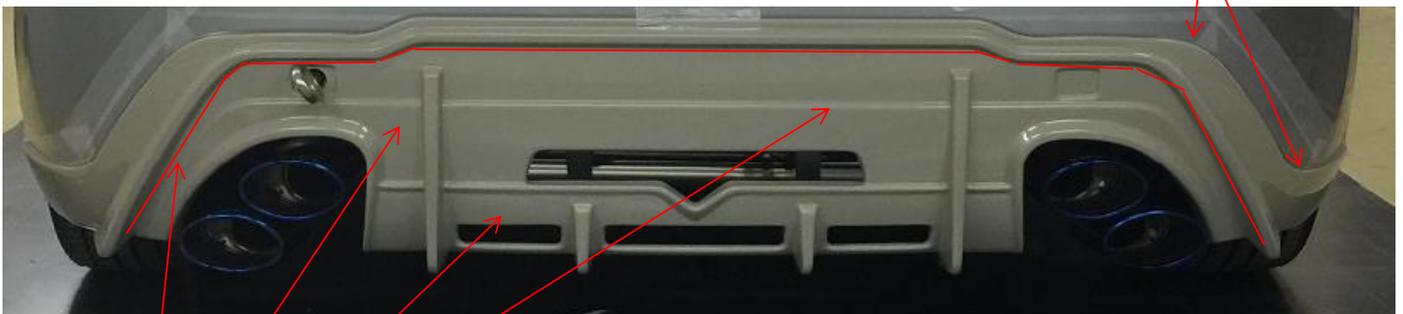
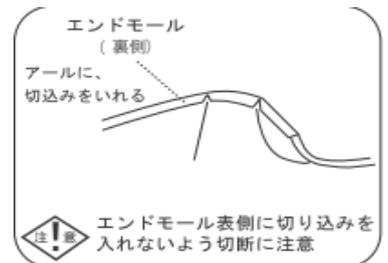
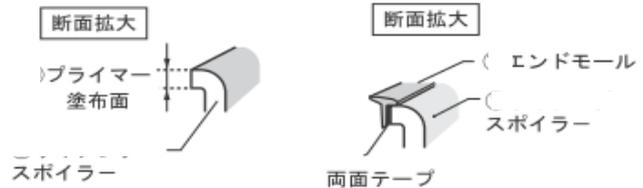
40度以上の加熱は製品変形の恐れがある。

### II. 塗り分けについて

1. 下記画像を参考に塗り分け塗装をおこなう。
2. 塗装終了後モール貼り付け部分を脱脂、プライマー塗布作業を行う。

#### 注意！

プライマーが塗装面に付着すると、塗装を傷める為はみ出し等に気を付けて作業する。



※半艶黒色塗り分けを行う。